

Rails受託会社を作 っている話

竹内雄一

Takeyu Web Inc.

はじめに

- 話すこと
- 話さないこと

話すこと

- フリーランスの話
- 法人成りの話
- 税金の話
- 法律の話

話さないこと

- Railsの話

railsdmなので

- Rails 1.1から触ってる
- 変わり続けている
- これからも変わっていくだろう

これからも

Railsをキメて気持ち良くなろう

Rails の話おわり

目次

- 自己紹介
- フリーランス？
- フリーランスという生き方
- 法人成りという選択

@takeyuweb

- 2008年～フリーランス
- 2016年 法人成り
- Rails 1.1～
- Saitama.rb主宰

Twitter



フリーランス？

“自由”業

- 自分で仕事をもらって自分で進めて自分で納品する
- 客先常駐だと個人事業主ではあっても自由業とは呼べないのでは(※個人の感想です)

フリーランスのここがいい

自分の裁量で働きかたを決められる

場所の自由

- 通勤したくない
- 春は外出したくない
- 地方在住でも東京の仕事(高い)

時間の自由

- 休日混雑するところは平日行ける
- 仕事が手に着かない日は諦めて寝る

フリーランス最高や！

QoLの高まりを感じる！

フリーランスという生き方

フリーランスとして生きていく中で知ったこと、感じたこと

- 報酬
- 税金
- 経費

フリーランスと報酬

金額交渉について

- 自分をいくらで売るか？
- 相対的な価値がわからないから値付けしようがない
- 難しい

自分をいくらで売るか？

- 自分がいくら欲しいかで決めてしま
って良い
- 最適化は必要になってから
 - 安過ぎたら…次の契約で交渉
 - 高過ぎたら…お互いの落としどころを探る

「技術者の値段が技術以外
(交渉力)で決まるのは…」

甘え。

フリーランスと経費（１）

- PCや技術書
- RubyKaigiの旅費交通費
- 家賃や電気代の一部
- ガソリン代の一部 など

フリーランスと経費（2）

よく言われる

「フリーランスだと技術書とかPCとか
経費にできてよい」

本当？

フリーランスと経費(3)

経費といえども自分の金には違いない

所得控除 というだけ

フリーランスと経費と所得控除

所得控除とは？

課税所得を押し下げる効果がある

課税所得が減るって？

いろんな税金が安くなる

PCを買う

- 会社員
 - 所得控除にならない
- フリーランス
 - 所得控除になる

PCが所得控除になる

お得じゃん！

…と思うでしょう？

どうということ？

会社員は

何もしなくても

給与所得控除 がある

給与所得控除？

働く上での必要経費。スーツ代とか、通勤費とか。

年収600万なら180万近い額 になる

給与所得控除まじばねえ

フリーランスの開発者が同じだけの控除を受けるのは **難しい**

それってどういうこと？

フリーランスは

所得税や住民税が給与所得者に比べて重いってこと。

つらい

フリーランスと税金(1)

- 最初来たときびっくりする(した)
- 毎月積み立てておく
- 収入の3-4割ぐらいは税金のつもりで

フリーランスと税金(2)

- 所得税
- 住民税
- 個人事業税

所得税

- 課税所得にかかる税金。
- フリーランスは自分で納付
- 2年目から予定納税あり
- 経費にならない

※課税所得 = 売上 - 経費 - 各種控除

住民税

- 課税所得の約10%
- 納付書が届く
- 経費にならない

個人事業税

- あるラインを超えると発生…びっくりする
- 納付書が届く
- 経費になる

フリーランスと税金(3)

- 国民健康保険税
 - 扶養がない
 - 自治体によっては本当クソ高い
- 国民年金保険料

国民健康保険税

- 扶養がない
- 自治体によって違う
- 納付書が届く
- 所得控除になる

国民年金保険料

- 納付書が届く
- 所得控除になる

確定申告

- freeeとか使えば難しくはない
- 年1なので忘れる
- 事業口座とクレジットカードは作れ
- e-tax

フリーランスと消費税

- 1000万未満は免税
- 納めるの免除というだけ
- 消費税の納税額 = 受取消費税 - 支払消費税
- 確定申告で確定、自分で納付

フリーランスと老後の備え

会社によっては退職金がある

退職金

- 普通の給与や事業所得に比べて、
所得控除がすごい

フリーランスに退職金はない

小規模企業共済

フリーランスの退職金といえばこれ
これで積み立てておくと **全額が所得
控除になる** のでありがたい(上限額
あり)

ただし廃業するなど条件を満たさないと引き出せない

個人型確定拠出年金 (iDeCo: イデコ)

- 全額が所得控除
- 月の拠出上限が会社員より高く設定されてる！
- 金融商品なのでリスクがある

自分であれこれ調べて貯める しかない！

小規模企業共済 + iDeCoで
最大月138,000円
を節税しつつ自力で積み立てる

フリーランスと健康保険・年金

会社員	フリーランス
社会保険	国民健康保険
厚生年金	国民年金
半額負担	全額負担

保障の内容も違うので金額だけでは比較できないが…

気になる？保障の内容は

- 社保 ＞ 国保
 - 傷病手当などの有無
- 厚生年金 ＞ 国民年金
 - 障害補償や遺族補償の額

失ってわかるありがたみ

フリーランスと休業補償

病気等で働けないとき

会社員	フリーランス
休業補償あり	0

会社員は、平均賃金の60%以上を会社から貰える

フリーランスと健康診断

会社員	フリーランス
定期健康診断あり	なし
会社負担(※)	自腹。 所得控除にもならない。

※会社が払う義務は無いが、まともな会社なら負担する

フリーランスと破産

仕事で大きな失敗をして相手方に損害を与えたとき

会社	フリーランス
有限責任	無限責任
会社の資本金の範囲内での弁済	個人の負債

フリーランスと社会的信用

ローンを組みづらい。

稼ぎを増やして札束で殴るしか無い

フリーランスと限界

- 物理的に手が足りない
- 自分以外の専門家が必要な仕事は無理

解消するには**仲間を増やす**しかない
が、ぼっちには厳しい…

フリーランスのここがっらいま とめ(1)

- 税制面で不利
- 公的保険が薄く割高
- 働けないと詰む

フリーランスのここがつらいまとめ(2)

- 無限責任
- 社会的信用の不足
- 限界値低い

つらい。

つらい。

それでも！

一度はまるとやめられない！

それがフリーランスという生き方！

そこで法人成りという選択

フリーランスの上位互換

としての法人を目指す

税制面で不利…なら

- 役員所得
 - 給与所得控除が受けられる
- 退職金
 - 保険等を活用して積み立て

公的保険が薄く割高…なら

- 社会保険、厚生年金
- 半額が会社負担
- 健康診断が経費

働けないと詰む…なら

- 休業補償
- 役員報酬

※仲間がいる場合に限る

無限責任…なら

- 法人は有限責任

※代表者が連帯保証人になる借金はしないことが大事

社会的信用と理解の不足… なら

会社役員ってだけでなんだかすごそう
(小並感

限界値低い…なら

- 考えに共感してくれる仲間を増やす
- 体力をつけて外部のパートナーをあつめる

だいじなこと

フリーランスのつらいところを補完できても、

良いところが失われたら意味がない

フリーランスの上位互換を目指そう

フリーランスの上位互換を目指す

- 一人会社の場合
- 仲間を増やす場合

一人会社の場合

- フリーランスの延長
- 面倒な手続きは増える
- 税理士などの顧問料
- 節税効果だけではダメ

仲間を増やす場合

- 面倒な手続きすごく増える
- 社労士などの顧問料
- 人にまつわる費用と労力
- 一人会社とは別のスキル

仲間を増やすことにした

- 一人では手いっぱい
- 一人でできないことをしたい
- フリーランスの上位互換ではありつづけたい

フリーランスの上位互換でありつづけるために

自由さを死守

- 場所の自由
- 時間の自由

場所の自由のために

完全リモートの会社にする

- 物理的なオフィスは持たない
- **すべての制度をリモート前提で考える**

物理的なオフィスを持たない

- オフィスにいる人といない人の差をなくす
- あくまでもリモート

すべての制度をリモート前提で考える

- リモートでできることしかやらない
- **リモートが不向きなものは工夫**
 - なるべくせずに済ますには？
 - やり方を試行錯誤

作業環境づくりを支援する

自宅の作業環境構築にお金を出す
ルールを作る

手当だと所得が増えてしまうので別の方法で

印鑑文化つらい問題

国の制度がリモート勤務をまったく
考慮していないつらみ

- いろいろな手続きで役員や社員の
印鑑が必要
- やむをえず郵送で対応している

時間の自由のために

- 専門業務型裁量労働制
- フレックスタイム制

専門業務型裁量労働制

やり方は任せる！成果が上がれば時間は不問！という制度

- 労働時間と方法を労働者に任せる
- みなし時間で給与を支払う

フレックスタイム制

- 週や月あたりの労働時間を決定
- 割り振りを労働者にゆだねる

専門業務型裁量労働制とフレックスタイム制の違い

全然違う

勤務日や出退勤時間の自由

裁量労働	フレックスタイム
なし	あり

- 裁量労働は早退が認められる。
- フレックスはいつ働いても(働かなくても)良い

適用可能な業務の制限

専門業務型裁量労働	フレックスタイム
あり	なし

- 『設計』は認められる
- 『プログラミング』は認められない

極端に自由に寄せたフレックスタイム制を採用

働く日も時間も選べるようにしたい！
ので、専門業務型裁量労働ではダメ

休日（１）

- 労働契約上、休日が必要。
- 例『土日祝祭日、年末年始、盆』

休日（１）

- 『各人の定める日』
- コアタイムなし

フリーランスほどには自由に できなかったものもある

- 深夜業務は無理
- 月の労働時間は固定

深夜業務は無理

いつでも働ける！は無理だった

- 5:00～21:59の範囲内
- 22:00～翌4:59は割増賃金発生

自分で時間を選んで割増分を受け取るのは筋が通らないでしょ？

月の労働時間は固定

『正社員』の所定労働時間は固定

- Aさんは160時間
- Bさんは100時間

はNG

なるべく月の労働時間に自由度を持たせたい

- 『多様な正社員』
- 正社員の所定労働時間を減らす

『多様な正社員』

『多様な正社員』（『短時間正社員』）
なら、個別の雇用契約で決められる

正社員	短時間正社員A	短時間正社員B
160	120	100

正社員の所定労働時間を減らす

- 月160時間(週5日相当)→128時間(週4日相当)に変更
- 160時間までは残業扱いで働ける
- 副業自由

有給について

- 月160時間でも月128時間でも法定有給は同じ
- 月128時間めっちゃお得やん！
- 役員は無限有給だけど

法人成りの経費

- フリーランスよりは細かく見られる
- 一人会社なら割と自由
- 仲間を増やすと**規程**が大事
- みんなうれしい感じにする

法人成りの税金

- 消費税
- 法人税
- 法人事業税
- 法人住民税

消費税

- 免税期間の延長
- 給料の比率が高いとつらい
- 外注費の方がお得

法人税

- 法人の所得税
- 役員所得には個人の所得税が別に
- 経費にならない

法人事業税

- 経費になる

法人住民税

- 事業所のある市区町村
- 最低7万
- 経費にならない
- 在宅ワークは事業所認定されない…？

まとめ(1)

- やって見てわかったフリーランスと法人の違い
- 雇って見てわかった社員とフリーランスの違い
- タケユー・ウェブ株式会社をやってみて

やってみてわかったフリーランスと法人の違い

- 税務署からいろいろ届く
- 節税手段も多いが出ていくお金も多い
- 要シミュレーション

雇ってみてわかった社員とフリーランスの違い

- 雇われる側のリスク
- 雇う側のリスク

タケユウ・ウェブ株式会社をやってみて

- ソロより経験値効率高い
- やはりこの生き方はやめられない
- 今後も推進していく気持ち

まとめ(2)

- フリーランス最高…だがつらいところもある
- 法人成りで解決できる問題もある
- 仲間募集してます